

学習ポートフォリオ 最終

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	藤内悠
クラス	K
学籍番号	1018103
プロジェクトの目標および成果物とそれにより得られた結果や効果について書いてください。（自由記述、200文字以上）	プロジェクトに取り組む中で、特に後期では登校に制限がかけられたため、限られた時間や回数の中で計画を立てる能力が鍛えられたと感じています。具体的にハードにおける政策作業をいつ登校して作成し、どの状態まで完成させるかを現実的な算段で検討し進めるうちに予定から遅れが生じることができないようにプロジェクトに取り組むことができました。また工房が使えない日その前段階で部品のみを準備したり、その日工房を利用している人に3Dプリンターのデータを預けて印刷を行ってもらうなど時間の有効活用に努めました。
その中であなたが貢献したことを具体的に書いてください（自由記述 200文字以上）	機構・ハード設計がメインであったためソフトウェアの作成担当の方と毎回の成果がどこまで到達したか、また現状では何が課題でその解決案をどうするつもりかを相談しソフトウェアとの兼ね合いや動作確認テストにおいて支障がないかなどの検討を重ねました。また設計図面上では動きに無理がない箇所を動作テストの前段階でいくつかの変更可能なパーツを作成しどれが適しているかなどを確認しテストを行った後日に改善する際の時間短縮を可能にしました。
グループのなかでの自分の役割について	責任と権限が明らかであった
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
自分の所属するプロジェクトの難易度について	比較的難しかった
上の質問で「その他」	

を選んだ人は具体的に記述してください。	
前期の活動終了時の学習目標を選択してください。（複数回答可）	複数のメンバーで行う共同作業； 教員とのコミュニケーション； 課題の設定方法； 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。（自由記述 200 文字以上）	工房利用時に単独のグループで独占せずに各グループから 1 人か 2 人ほど利用し、全グループが同時に作業を行えるようにプロジェクトとして指針を定めました。また、作業の際にも他のグループの作業の相談を持ち掛け課題を共有することで同じグループだけではなく、別のロボットを作成するメンバー同士で共同作業に取り組みました。加えて slack のチャンネル数をグループ単位のものから機構やソフト、開発に関わる分野ごとに分けた相談所を作成し学生同士、あるいは教員からのアドバイスや意見交換の場を活用しました。
その結果、プロジェクト学習で <u>習得できた</u> ことは何ですか。（複数回答可）	複数のメンバーで行う共同作業； 学生同士でのコミュニケーション； 作業を効率よく行う方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
その結果、プロジェクト学習で <u>習得できなかった</u> ことは何ですか。（複数回答可）	教員とのコミュニケーション； 課題の設定方法； 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
習得できなかった理由は何ですか。（自由	教員との相談する機会があまりなく、プロジェクトのメンバー内で相談することが多くあり結果的に教員との情報共有が少なくコミ

記述 200 文字以上)	コミュニケーションが取れていたとは言い難い状況となりました。グループ同士の交流の場を設けたり実際に同時に作業を行いました、自分のグループの作業に囚われてしまい、お互いを補完する作業となるまでには到達していないことが多く当初想定したプロジェクトのグループ同士との連携が同グループ内でのコミュニケーションに比べるとあまり活発的ではなくあったためと考えます。
卒業研究や今後の成長のためにあなたにとって特に必要なことは何ですか。(複数回答可)	学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 課題の設定方法; 課題の解決方法; その他(下の記入欄に具体的に記述してください)
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	オンラインでの活動に関わること全般
上記のことが必要な理由は何ですか?(自由記述. 200 字以上)	卒業研究に携わるにあたって基本的には個人個人で自主的に進めることが重要ではあるが、研究の相談や参考を調査する際に教員や学生同士の積極的な情報交換も必要であると考えためであります。また卒業研究だけではなく、社会に出た後も上部の人との連絡や社内外問わず仕事に関わる内容で話合う必要があると考えるため、周囲の人物と共に課題を見つけ、そしてその解決策を模索することが重要になると感じるためです。今後はコロナウィルスの影響がどれほどあるかわかりませんが、対面ではない活動が増加する可能性が大いにあるためその点で対面とは違うことに利点を見出しつつ活動の幅を広げられるようにならなければこの先で取り残されるとも感じる場面がプロジェクトを通じて何度か体験したことも理由に挙げられます。
プロジェクト学習と今までに受けた講義・演習との関連の有無について	3つ以上の講義・演習と関連があった
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
グループ内での作業	多少不公平があった

分量の割り当てについて.	
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
通常の講義・演習と比較して、プロジェクト学習の意義の有無について (Q27)	プロジェクト学習の意義があった
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
Q27 の意義について、答えを選んだ理由となる項目を選択してください。(複数回答可)	プロジェクト学習で習得した方法； プロジェクト学習で習得しなかったが、習得できなかった方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
自分の所属するプロジェクト(グループ)の活動に対する満足度について。(Q31)	やや不満
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
Q31 の満足度の理由として考えられる項目を選択してください。(複数回答可)	プロジェクト学習で習得しなかったが、習得できなかった方法； プロジェクト内での教員同士の連携； 通常の活動時の教員の指導の有無
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	

グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	まあまあできる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることができる	まあまあできる
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	まあまあできる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	まあまあできる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	できる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	まあまあできる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え	まあまあできる

方を再考したり修正したりできる	
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	できる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	できる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	まあまあできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	まあまあできる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	できる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	できる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる

社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	できる
他者を信頼し、共感することができる	あまりできない
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	まあまあできる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	できる
あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	意欲的だった
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？	興味を持てた
前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後に役立つと思いますか？	役に立つ
今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信がありますか？	まあまあ自信がある
前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？	まあまあ満足している

